

共創による「健康づくり・通学・配送」を支える交通体系構築プロジェクト（筑紫野市）

応募様式A

（筑紫野市地域公共交通共創プラットフォーム）

事業の基礎情報

実施主体	筑紫野市
事業実施地域	筑紫野市内
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 教育 ・ 農業
共創パートナー	筑紫野市 ・ 筑紫野市教育委員会 ・ 筑紫野市地域公共交通会議 ・ ネクスト・モビリティ株式会社 西鉄バス二日市株式会社 ・ 有限会社つくしの観光バス ・ 健寿株式会社 ・ 筑紫農業協同組合 農事法人山口農産
運行形態	AIオンデマンド交通
運行主体	有限会社つくしの観光バス

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

・山口地域の一部区間を重複して運行するスクールバス、カミーリヤ巡回福祉バスは、それぞれ便数が少なく、乗継も考慮していないことから、利用者数が低迷しており、改善が求められている。また、同地域では、交通利便性の低さから外出を断念したことがある市民の割合が、市の平均(22%)を上回る29%となっていることから、特に高齢者に対し、外出機会の増加及びフレイル予防に取り組む必要がある。さらに、中山間地域が含まれる同地域の農産物の輸送について、2024年問題に対応するため、貨客混載の実証を行う必要がある。

（事業の概要）

- ・共創パートナーが連携し、既存交通のAIオンデマンド交通サービスへの転換を図ることで、効率的な運行体系を構築する。
- ・AIオンデマンド交通利用者に対し、トレーニングルーム利用券の配布等を行うことで健康づくりを通じた移動需要の創出を図る。
- ・車両の空き時間・空きスペースを活用した農産物の貨客混載を実施し、2024年問題に対応した地域の物流の維持・確保に取り組む。
- ・実証事業を通じて、共創パートナーの協力関係を深化・発展させることで、市が掲げる「住み続けたい幸福実感都市」の実現を目指す。

共創による「健康づくり・通学・配送」を支える交通体系構築プロジェクト（筑紫野市）

応募様式A

（筑紫野市地域公共交通共創プラットフォーム）

事業の全体像・共創の仕組み

④ 貨客混載実証事業

筑紫農業協同組合

・配送された農産品の受取・販売

農事組合法人山口農産

・貨客混載による農産品の配送

車両の空きを活用した貨客混載

② カミーリヤ巡回福祉バス運行事業

ネクスト・モビリティ株式会社等

・配車サービスの提供

西鉄バス二日市株式会社

・運行ルート・時間、バス停箇所等の助言

配車サービス提供・支援

助言

運行主体 株式会社 つくしの観光バス

・AIオンデマンド交通の運行

実施主体 筑紫野市

・プラットフォームの運営、協議、調整
・各種手続き、結果の分析
・事業の拡充可能性の検討

筑紫野市地域公共交通会議

・事業の方針決定
・関係者との合意形成
・事業実施、事業目標の設定及び評価

連携
協力

③ 健康づくりを通じた 移動機会創出事業

健寿 株式会社

・トレーニングルーム利用券の配布、健康指導

連携・協力

① スクールバス運行事業

通学生徒・学校関係者

スクール
バス運行

調整・連携・協力

筑紫野市教育委員会

・通学生徒、学校関係者との調整、連携協力

取組の詳細

（地域の関係者との連携・協働）

- ・交通事業者間の連携により、AIオンデマンドバスによる統合を行うことで、運行の効率化、ダウンサイジングによる経費縮減が見込まれる。
- ・物流に関して、特に中山間地域が含まれる山口地域において、2024年問題によるサービスの低下が危惧されているため、貨客混載に取り組むことで、物流を維持・確保する効果が見込まれる。
- ・免許返納者の増加等により、外出を断念する人の増加が見込まれるため、交通事業者とトレーニングルームが連携して取り組むことで、外出機会の創出及びフレイル予防が見込まれる。

（実証事業により見込まれる効果）

- ・本事業の実施により、スクールバスとカミーリヤ巡回福祉バスをAIオンデマンド交通に転換することで、車両の小型化による維持管理費の縮減、運転手の負担軽減、面的な運行による交通不便地域の解消、リアルタイム予約の実現による利便性の向上が見込まれる。
- ・トレーニングルームと連携した取り組みにより、健康づくりを目的とした移動需要の創出及びフレイル予防の効果が見込まれる。
- ・貨客混載に取り組むことで2024年問題に対応した物流の維持が見込まれる。

